

第2四半期 過去最高の 売上を記録 大幅な増収増益

ライブ・エンタメ市場は堅調に推移

KDDIとの
取り組みが加速

通期業績予想を上方修正
配当予想も上乗せ

前期を上回り、全ジャンルで
チケット販売が好調



一般社団法人
「チームスマイル」
の活動がいよいよ本格化

Merry Christmas!



びっけろ

くまびー

※キャラクターのネーミングは、現在商標出願中です。

成長モードの具現化に向けて

2013年度上期決算について

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当連結会計年度における第2四半期連結累計期間の業績につきましては、引き続き大型興行のチケット販売が音楽ジャンルを中心に好調に推移し、売上高・利益ともに大幅に伸長いたしました。お陰さまで11月1日には業績予想の修正を発表し、通期におきましても売上高・利益ともに当初予想を上回る見込みとなりました。今年度は、昨年新たに策定いたしました中期事業計画の2年目にあたりますが、安定した黒字基盤を確立するとともに、これまでの「再建モード」から「成長モード」への本格的な移行を一步一步、着実に進めております。しかしながら、慢心することなくさらに身を引き締め、地道な経営努力を積み重ねてまいり所存です。

2013年度ライブ・エンタテインメントマーケットについて

この10年を振り返ると、日本国内のレジャー・エンタテインメント市場は、経済不況が長引き、個人消費が低迷する中であっても、着実な成長を続けてきました。また、エンタテインメント産業におきましては、CDやDVDなどソフトウェア商品の売上が不振に陥る中、ライブ・エンタテインメント分野は数少ない成長産業のひとつとして挙げられ、昨年度には、2011年の減少から一転、2000年以降では過去最高の市場規模を記録しました（出典：「2013ライブ・エンタテインメント調査レポート」より）。こうした状況からも、デジタル

化が進み、人々の生活に利便性が増す一方、「モノ」より「コト」への関与やリアルな感動がより強く求められており、ライブ・エンタテインメントが、多くの人に夢や希望を与えるために必要不可欠なものであることを、改めて認識させられました。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催について

さらに9月には、2020年夏季オリンピックの東京開催が決定し、日本中がその瞬間に歓喜しました。今年の3月、IOCの評価委員が来日して東京で行われた最終プレゼンテーションでは、東京開催時のチケットングに関するプレゼンターとして、微力ながらその招致活動のお手伝いもさせていただきました。当社は、1998年の長野オリンピック以降、JOCのオフィシャルチケットングマネジメント会社として、すべてのオリンピックにおいて、日本国内での観戦チケット販売をお手伝いさせていただいており、昨年行われましたロンドンオリンピック、まもなく開幕するソチ冬季オリンピックにおきましても、日本国内における観戦チケット販売の総代理業務を担っています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおきましても、これまで培ってきた経験や技術を活かし、その成功に向けて、大いに貢献したいと考えております。

チームスマイル活動について

東日本大震災の直後、社内の有志から発足した震災復興

代表取締役社長
や ない ひろし
矢内 廣



のボランティア活動「チームスマイル」は、昨年10月に一般社団法人化され、まもなく本格的な第二段階の活動に入ろうとしております。長期的な震災復興のために本当に支援が必要なのは、まさにこれからだと思います。当社ではこの取り組みをCSR活動として明確に位置づけ、主体的な立場から積極的に参画してまいりたいと考えています。

不祥事件に対するお詫び

最後に、当社では去る10月、当社社員がお取引先様に対し、今年7月に刊行しました出版物「ももクロぴあ vol.2」における印刷部数について虚偽の報告を行うという不祥事件について、自ら公表をいたしました。事案の発覚後、当社では直ちに社外より有識者を招き、特別調査委員会、ならびに懲罰委員会を発足させ、事件の経緯と事実関係の客観的な調査を行い、処分を決定いたしました。株主の皆様をはじめ、お取引先様、お客様のご期待や信頼を裏切る結果となりましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。今後は全社を挙げてコンプライアンス意識の徹底と再発の防止に取り組んでまいり所存ですので、引き続き、ご指導とご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

ピックアップ

KDDIと業務提携 様々な取り組みがスタート

今年5月、KDDI株式会社との業務提携に合意し、様々な取り組みがスタートしています。6月よりKDDIが運営するauスマートフォン向けサービス「auスマートパス」に対し各種コンテンツを提供するとともに、チケットの先行販売や会員限定イベントを実施。また10月には、スマートフォン向けエンタテインメントサイト「uP!!!」をオープンし、サイトユーザーの「現在地（場所）」と「現在時刻（時間）」を起点にしたエンタテインメント情報を提供するとともに、新人アーティストによるライブイベント「uP!!!NEXT」やスペシャルライブ「uP!!!SPECIAL」の継続開催もスタートしました。リアルなエンタテインメント体験へと結びつける複合的なサービスを提供することで、新たなユーザー層の開拓につなげています。



話題の来日公演など主催（共催／出資）興行を拡大

ライブ・エンタテインメント市場が堅調に推移する中、音楽、ミュージカル、イベント、映画、アニメなど多岐にわたり主催（共催／出資）興行を拡大しています。なかでも、11年ぶりに実現した奇跡の来日公演として注目を集めたポール・マッカートニー「アウト・ゼア ジャパン・ツアー」にも主催参画し、また彼を特集したムック本「ぴあ Special Issue「ポール・マッカートニー来日記念特別号」」も発行するなど、コンテンツを活用した多面的な展開も行っています。



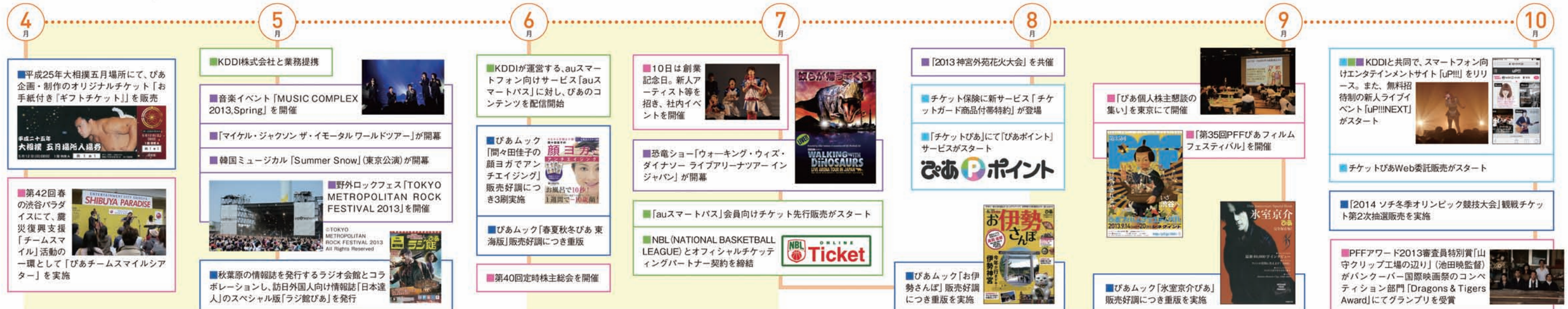
「PFFぴあフィルムフェスティバル」記念すべき第35回を開催

「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに、1977年よりスタートした自主映画の祭典「PFFぴあフィルムフェスティバル」が、記念すべき35回目を迎えました。これまで、森田芳光、矢口史靖、李相日、園子温、黒沢清、石井裕也など日本映画界を代表する監督たちを数多く輩出し、プロへの登竜門として広く認知されています。これまでの応募作品数は19,700本、総入選数は570本を超え、日本のみならず海外映画祭でも高い評価を得ています（下記「最近の主なトピックス」参照）。才能あふれる新人監督たちの未来を切り拓き、日本映画界の活性化に寄与する活動として継続しています。



最近の主なトピックス

インターネットのさらなる活用 ■ 既存事業の盤石化、経営資源の選択と集中 ■ アライアンス戦略の推進 ■ 主なぴあ主催（共催／出資）興行 ■ CSR活動 他

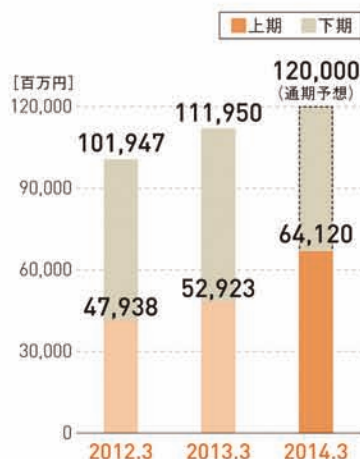


連結財務ハイライト

売上高

前年同期比
21.2% 増

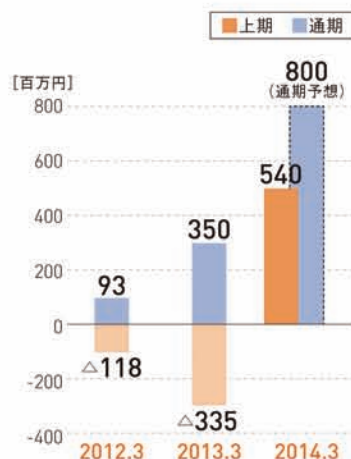
インターネットでのチケット販売が好調に推移するなど、全ジャンルにおいてチケット販売が前期を上回り、第2四半期の過去最高売上を記録。



経常利益

前年同期比
876 百万円 増

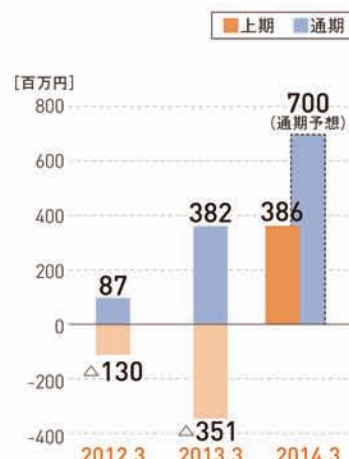
売上高の増加に加え、チケットティングシステムのソフトウェア償却減などもあり収益が大幅アップ。



純利益

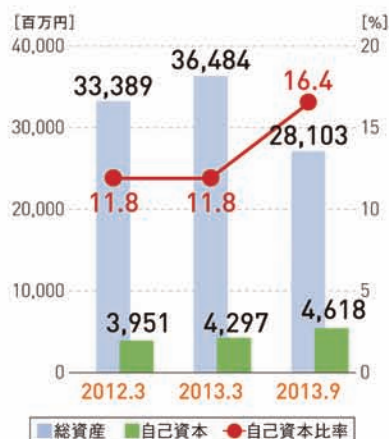
前年同期比
738 百万円 増

売上高・経常利益・純利益ともに当初予想を上回り、大幅に伸長。安定した黒字基盤を確立。



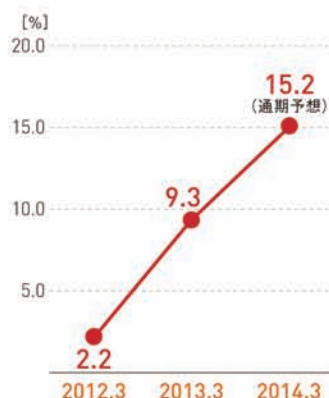
安全性指標 自己資本比率

※自己資本比率=自己資本 / 総資産



効率性指標 ROE (株主資本利益率)

※ROE=当期純利益 / 期首と期末の自己資本の平均値



通期の見通し

中期事業計画の2年目となります2013年度の通期業績見通しといたしましては、期初の予想数値を大幅に上回り、連結ベースで、売上高1,200億円、営業利益8億円、経常利益8億円、当期純利益7億円となる見込みです。

2013年度連結業績予想

[単位:百万円]

	上期		通期	
	2012年度実績	2013年度実績	2012年度実績	2013年度予想
売上高	52,923	64,120	111,950	120,000
営業利益	△326	537	380	800
経常利益	△335	540	350	800
当期純利益	△351	386	382	700
1株あたりの配当金	—	—	5.00円	8.00円

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pia.co.jp/pia/ir/>

ご案内

ぴあが主催(共催/出資)するエンタテインメント(2013年下期開催の主な公演)

音楽 ポール・マッカートニー来日公演 「アウト・ゼア ジャパン・ツアー」

時代を超え愛される稀代のアーティスト、ポール・マッカートニーが、11年ぶりに奇跡の来日公演を果たす。

11/11・12 ●京セラドーム大阪
11/15 ●福岡ヤフオク!ドーム
11/18・19・21 ●東京ドーム



演劇 キャラメルボックス 「ウルトラマリンブルー・クリスマス」

アメリカ映画の名作「素晴らしき哉、人生!」にオマージュを捧げる成井豊の書き下ろし作品。劇団初のダブルエンディングで上演。



12/5～12/25 ●東京・サンシャイン劇場

映画 「小さいうち」

山田洋次監督が直木賞受賞小説を映画化。「家族の絆」を描き続けた名匠が、初めて「家族の秘密」に迫る。
2014年1/25～
●全国ロードショー



©2014
「小さいうち」
製作委員会

演劇 韓国ミュージカル 「Summer Snow」

11/29～12/6 ●兵庫・あましんアルカイックホール
(尼崎市総合文化センター)

演劇 舞台 「華アワセ」

2014年1/21～1/26 ●東京・天王洲 銀河劇場

映画 「ルームメイト」

11/9～●全国ロードショー

映画 「白ゆき姫殺人事件」

2014年3/29～●全国ロードショー

公演情報の詳細は、「チケットぴあ」Webサイトにてご確認ください。 <http://pia.jp/>

最近のぴあの出版物

話題の新作



エンタメ
ぴあ Special Issue
ポール・マッカートニー
来日記念特別号
[10月発売]



エンタメ
魔法少女
まどか☆マギカぴあ
[10月発売]



レジャー・旅
航空機
エアラインぴあ
[10月発売]



グルメ
東京バル案内
2014
[11月発売]



レジャー・旅
冬ぴあ
首都圏版 / 関西版 / 東海版
[11月発売]



レジャー・旅
冬ぴあファミリー
こどもと遊ぼう
首都圏版
[11月発売]



エンタメ
SODA 14/1/1号
[11月発売]



グルメ
東京最高の
レストラン2014
[12月発売]

定刊誌 韓流ぴあ [月刊] 月刊スカパー! [月刊] TVぴあ (全国5版) [隔週刊] ※発売元

※上記は11月15日時点の情報です。

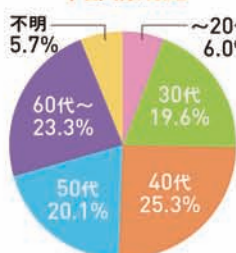
その他、さまざまなMOOK・書籍等を続々刊行中です。

ぴあの出版物は、書店及び、オンラインショップ「ぴあBOOKSHOP」にてお買い求めいただけます。 piabook.com

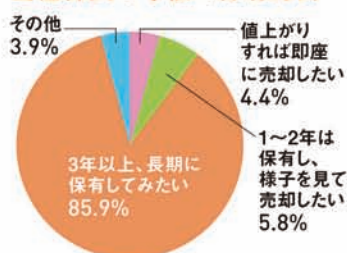
株主アンケート結果のご報告

2012年度報告書に同封いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は約7,060名の株主の皆様からご回答いただきました。ここに集計結果の一部をご紹介します。皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め、今後のIR活動ならびに事業活動に活かしてまいります。

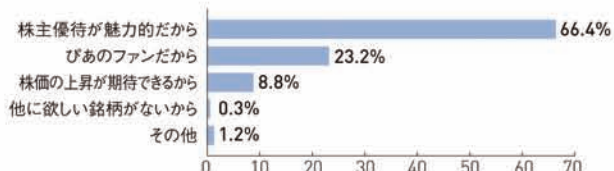
年齢構成比



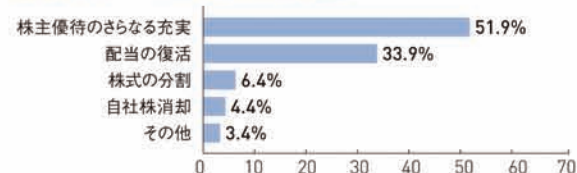
当社株式の今後の保有方針



当社株式の保有理由(複数回答)



当社株式への期待(複数回答)



株式情報 (2013年9月30日現在)

会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA CORPORATION)	
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー	
設立	1974年12月	
資本金	4,239,158千円	
社員数(連結)	252名	
事業内容	音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、レジャー・エンタテインメント領域におけるムック・書籍の刊行及びWebサイトの運営、コンサートやイベントの企画・制作・運営などエンタテインメントに付随する他事業	
役員	代表取締役社長 (CEO)	矢内 廣
	取締役	白井 衛
	取締役	唐沢 徹
	取締役	木本敬巳
	取締役	長島靖弘
	取締役	夏野 剛
	取締役	吉澤保幸
	取締役(社外)	佐久間 昇二
	取締役(社外)	富山和彦
	取締役(社外)	松永明生
	常勤監査役	能勢正幸
	監査役	斎藤廣一
	監査役(社外)	松田政行
	監査役(社外)	新井誠
主要グループ会社	ぴあデジタルコミュニケーションズ株式会社 チケットぴあ九州株式会社、株式会社東京音協 チケットぴあ名古屋株式会社	

株式の状況

発行済株式総数	14,092,913株	
株主数	23,902名	
主な株主	株主名	所有株数(株) 持株比率(%)
	矢内 廣	2,900,100 20.58
	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	1,409,400 10.00
	凸版印刷株式会社	1,087,709 7.72
	株式会社セブン&アイ・ネットメディア	704,700 5.00
	株式会社セブン・イレブン・ジャパン	704,700 5.00
	KDDI株式会社	617,300 4.38
	斎藤廣一	576,300 4.09
	株式会社経営共創基盤	481,800 3.42
	林 和男	450,800 3.20
	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	412,300 2.93

株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告(URL) http://www.pia.co.jp/pia (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	TEL.0120-782-031
インターネット ホームページ	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
特別口座管理機関 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	TEL.0120-288-324
単元株式数	100株

※住所変更等の事務手続きは、お取引の証券会社等にてお手続きください。

株主優待制度について

2013年3月31日現在の株主の皆様に対し、株主優待を実施しています。

1. 優待品目と事前選択

チケットぴあギフトカード、オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカードの3品目。下記優待金額の範囲内で、自由に組み合わせて事前を選択していただくことができます。

2. 優待区分

[期末保有株式数]



株価の推移



株主数の推移



ぴあ株式会社

〒150-0011 東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
TEL.03-5774-5200 (大代表) <http://www.pia.co.jp/pia/>



ぴあはJOCオフィシャルチケット
ティングマネジメントとして、
日本選手を応援しています。